ビリー・ジャックのこと

ビリー・ジャックを店先で見かけたと き、彼は生後10か月でした。(ちなみ に、名前の由来は、1970年代初め、 アメリカのカンフー映画に出ていた警 今はなくなってしまいましたが、 家から駅へ行く途中にあったペットショ ップでのことです。その頃、私は、ほど なく家で仕事を始める予定だったので、 「犬を飼いたいね」と妻とよく話してい ました。ある日のこと、"あの子"がそ の店の外に鎖でつながれていたのです。 噛んで遊べるオモチャのひとつも与えら れず、退屈そうでした。それから、毎日、 彼にあいさつしたので、彼の方も、私が やって来るのに気づくようになりまし た。まさか、「オモチャを持ってきてく れないかな」と毎日、朝な夕な、私を待 っていたなんてことはないでしょうが… …私は、オリバーさんに電話で相談して みました――「"彼"をあの店から"身 受け"したいんですが、家で仕事を始め るまでの数週間、アークで預かってくれ ませんか」と。「あちこち移動させるの は、その子のために良くありませんよ」 というのがオリバーさんの忠告でした。 そして、やがて…「もう我慢できない!」 決断を迫られる日がやって来たのです。

その日は日曜日で、店は閉まっていまし た。窓からのぞいてみると、立つことも 向きを変えることもできない狭いケージ の中に"彼"がいたのです。ぞっとする 光景でした。月曜日の朝、私は、彼を "救出"すべく"保釈金"を持って、勢 いよく店に乗り込みました。こちらが交 渉するまでもなく、先方から半額近く値 引きしてきました。餌代と数本の予防注 射代にも見合わないほどの金額だったの で、ともかく、私としては、さらに別の 「ブリーディング」によって、哀れな子 犬を増やす資金にはなるまいと、ほっと しました。彼は、フェアプレイ精神にあ ふれた社交的な子で、幼年期の育ちから 来る"暗いかげ"を少しも感じさせませ んでした。それに、我が家にいる(捨て猫 の兄妹)ジョーとローズに対しては、「も のわかりのいい父親」といった存在です。 私の願いは、3匹が長生きできるように 精一杯尽し、「生命と愛の何たるか」に ついて、彼らから教わることです。あの 日、ペットショップを後にする時、彼は、 店の子犬たち全部に2度づつお別れを告 げました。ビリー・ジャックは、そうい う奴なのです。

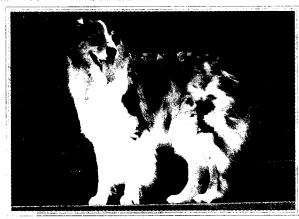
B.A.R.F.のすすめ

うちの犬は、barfを食べています。とい っても、あなたが想像している物ではあ りません。(訳者注:barf=嘔吐) Biologically Appropriate とは、 Food "(=生物的に正しい生 の食べ物)です。いわゆるペットフード、 より正確に言うと、ドッグフードとキャ ットフードが出まわるようになったの は、そう古いことではありません。イヌ とネコがどれほど昔から地球上を歩き回 っているかに比べると、市販のペットフ ードは、ごく最近の産物だと言えます。 出来合いのペットフード導入の原因と目 的は何だったのか? 動物の側に何らか の突発的な進化革命があったのでしょう か? そうとは思えません。進化という のは、もっと長い段階をかけて起きるも のであり、ネコとイヌは何万年もの間、 人間の手で調理し、袋詰めにされた粗挽 き穀物などとは縁がなかったのです。

ところで、「一体、BARFで何なの?」とお思いでしょう。単純なことで、野生のネコとイヌが食べているものにほぼ近いと言えます。ビリー・ジャックは、朝、生の鶏の首3片と、夕食には、鶏の砂肝にサツマイモと(ニンジン、ダイコンの

, Bijul

Billy Jack (named after the kung fu cop character of the early seventies American movies) was a 10-month old inmate at a now-defunct pet shop between our house and the station. My wife and I had been talking about the idea of getting a dog since I was about to begin working at home. One day I saw him outside the shop on a chain with not even a chew toy to keep him busy. Everyday I began to greet him and so he began to recognize me coming, if not expecting me each day, morning and evening with a chew. I called Ms. Oliver to see if we could get him out of there and to ARK until I could be working at home, less than a month away. She advised me that all the moving around wouldn't be good. Then came the final straw. It was a holiday weekend and the shop was closed so I peered in the window and found him in a cage too cramped to stand up in or turn around in. It was sickening. The following Monday I went over fuming with the ransom to get him out. Without me asking they offered to reduce it by almost half. The money couldn't have paid for his food or shots so I felt relieved about not funding more breeding. He is such a social dog with a sense of fair play and not a trace of ill effect from his early life. He is also an understanding father figure for Joe and Rose, our brother and sister feline rescues. My hope is to give them all as long a life as I can so I can learn what it is they have to teach me about life and love. Before he left the pet shop that day he bid farewell to all the puppies twice. That's who he is.



B.A.R.F.

My dog eats barf. It isn't what you think. Barf is Biologically Appropriate Raw Food. Pet food, more specifically dog and cat food has been around for a very short time. If you compare how long the canines and felines have been stalking this planet, prepared pet food is a very new arrival on the scene. What was the cause/purpose for the introduction of prepared pet food? Was there some sort of sudden evolutionary revolution on the part of the animals? I think not. Evolution works on a longer scale and the cats and dogs got along for tens of thousands of years without any human assistance in the way of baked and bagged kibble.